

平成28年度

事業報告書



社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

平成28年度網走市社会福祉協議会事業報告書

はじめに

当年度は、5年間の計画期間である「第6期地域福祉実践計画」の1年目でした。

本実践計画に沿って、これまでどおり地域福祉への理解や意識を高め、地域住民や関係団体等と更に連携を密にし、地域における多様な福祉活動を推進し、地域の福祉力を高めるよう努めました。

また、これらの事業を効果的に推進していくために、運営体制や財源の確保など、安定した運営基盤の確立に努めました。

I. 住民主体の地域福祉活動の推進

1. 地域課題に応じた取り組みの推進

- (1) 網走市地域福祉会議、地域包括支援センター、ケアマネージャー連絡協議会をはじめ、認知症介護研究会、被害者支援連絡協議会など様々な関係機関・団体と連携し、地域課題把握等の情報交換に努めました。

調査方法	内容	対応
訪問調査	寄せられた相談に対し、的確な派遣ができるよう必要に応じ訪問調査を行なう。	随時
地域ケア会議の出席	地域包括支援センターが必要に応じて実施している、地域単位でのケア会議へ積極的に参加し、ニーズ調査・検討及び対応を行なう。	随時
関係機関との連携	関係機関と連携を図りながらニーズ調査等を行なう。	随時

○主な参加機関・団体

網走市社会を明るくする運動実行委員会	ふれ愛ひろば網走実行委員会
網走市外3町介護保険認定審査会	網走市厚生病院運営委員会
網走市有償運送運営協議会	地域密着型サービス運営委員会
網走市生活安全連絡会議	SOSネットワーク
生活就労支援協議会	地域包括支援センター運営協議会
赤い羽根共同募金運動	網走市障がい者自立支援協議会
網走地区被害者支援連絡協議会定期総会	北網保健医療福祉圏域連携推進会議
歳末たすけあい募金運動	網走市学校支援本部事業実行委員会
網走市子ども・子育て会議	網走市成年後見ネットワーク会議
オホーツク網走マラソン実行委員会・部会	

2. 地域を担う人づくり

地域住民が福祉について理解を深め、地域福祉活動が推進できるように、人材育成を進め、地域の福祉力の向上に努めました。

(1) 出前講座の実施

企業や学校をはじめ、老人クラブ、町内会、ふれあいの家等、地域住民から多くの依頼があり、社協役職員及び協力者（ボランティア等）により講座を実施しました。

年度	実施回数	受講者
平成28年度	31回（前年度36回）	871名（前年度1,055名）

(2) サービス介助士検定資格普及事業

超高齢社会に対応した人づくり・環境づくりを推進することを目的として、NPO法人日本ケアフィットサービス協会が開発・認定する「サービス介助士」検定資格の取得講習や検定試験を実施しました。当年度は、網走市より「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進、「障害者差別解消法」の普及、「心のバリアフリー」の醸成等を目的に、受講料の全額補助が行なわれたこともあり、参加者数が増えました。

日 時 平成 28 年 11 月 12 日（土）～13 日（日）

場 所 エコーセンター学習室

参加者

区分	申込み	参加者	備考
市補助希望者	16 名	15 名	1 名体調不良で欠席
社協	2 名	2 名	
合計	18 名	17 名	

(3) 福祉活動実践者の表彰

社会福祉事業の推進に寄与された個人、団体に対して、その功績を称えて顕彰しました。

特別表彰	永年ボランティア活動	山田カヨ子、照井ユキ子、廣田共子、瓢子桂子、神田芳明、阿部美知子 岸田春恵、石塚京子、(有)つだ美容室、藤井久子、菊地庸子、井戸正晴 高橋敬子、高田恵美子、野崎彰、井戸訓子、岡田由美子、広瀬ヒロ子 山下禎子、川村さゆり、中川きみ江、渡部百合子、杉本武子、住岡静子 千葉涼子、新谷昌子、金石マサ子、佐藤隆子、澤木登美子、村田佐智子 石田昌子、北村和子、伊藤禎子、渡邊園恵、稲川シゲ子、勇谷光江 大平政子、今村健策、堀田勝子、鎌田さち子
------	------------	--

39 名・1 企業（敬称略・順不同）

3. 誰もが暮らしやすい地域づくりの推進

住み慣れた地域で安心して生活ができるように、地域の様々な課題を踏まえ、地域住民や関係機関・団体と連携・協働し、多様な福祉事業を推進し地域福祉の向上を図りました。

(1) 地域住民と社協が連携した地域づくりの推進

①地域福祉会議

網走市内の関係機関・団体が連携・協力し、地域住民の誰もが住み慣れた地域で安心・安全に住み続けられる地域づくりの実現を目指し、網走市の地域福祉の推進を目的として開催しました。

○地域福祉会議、事務担当者会議

回数	開催日	主な案件・協議事項
第 1 回事務担当者会議	5 月 30 日	・平成 28 年度網走市地域福祉会議事業実施方法の確認
第 1 回地域福祉会議	6 月 30 日	・平成 28 年度網走市地域福祉会議事業の進め方について ・市老連「老人クラブ組織強化検討会議」設置協力依頼について
第 2 回事務担当者会議	7 月 13 日	・介護保険「生活支援体制整備事業」に係る「協議体」としての機能を付加
第 2 回地域福祉会議	11 月 11 日	・事務担当者会議結果報告 ・網走市地域福祉会議規約の一部改正について
第 3 回地域福祉会議	3 月 3 日	・「網走市地域福祉会議地域協議会開催要領」の策定について

○事業実績

事業計画		成果・実績
1	(1)「防災福祉の地域づくり推進運動」の活動基盤づくり・強化	
	①防災福祉組織（自主防災組織）の結成促進	
	◆町内会・老人クラブの組織課題への対応	■市町連組織強化会議（三者協議）の実施 5 月 31 日
	◆防災福祉組織（自主防災組織）率 60% 達成	■組織率 64.0%
	②防災福祉活動の推進	
	ア) 自主防災活動	
	◆網走市「地域防災訓練」の協働実施	■潮見地区連地域防災訓練 1 月 14 日
イ) 地域福祉活動		

	◆市老連「友愛会員」設置事業（道老連モデル事業）の推進	■市老連友愛会員講習会
	③研修会等の開催推進	
	◆防災福祉関係研修会等の参加・協力	■平成28年度町内会活動推進研修会 2月5日
	④広報・啓発	
	◆「防災福祉の地域づくり推進運動」の周知・実践の呼びかけ	■社協「ふれ愛め〜る」101号（6月発行）に啓発記事を掲載
	(2) 地域防災力の向上	
2	◆網走市「地域防災訓練」の協働実施	■平成28年度町内会活動推進研修会
	◆網走市「災害時要援護者支援制度」の活用・協力	■潮見地区地域防災訓練（HUG訓練）
	(3) 高齢者の自立自助と社会活動の推進	
3	◆老人クラブ連合会「助け合う高齢者推進運動」への協力・支援	■市老連友愛会員講習会 ■市老連友愛会員懇談会 2月2日

②関係機関・団体と連携し協力した地域福祉の推進

ふれ愛ひろばや総合福祉センター感謝祭など様々な事業等で関係機関や団体と連携協力を進めました。

③福祉への理解や関心を高めるために

○「ふれ愛ひろば網走2016」の開催

福祉団体や関係機関等と協力し開催するこの事業は、当年度で29回を数えました。8月最終日曜日の開催も定着して多くの来場者を迎えることができました。

期 日	行 事 名	会 場	参加者数
8月28日	ふれ愛ひろば網走2016	同	約1,700名

④神奈川県厚木市まちづくり視察研修参加

と き 平成28年7月5日（火）～7日（木）

参加者 社協：新海係長、山中係長 町内会連合会：黒田会長、柿本副会長 市役所市民課：田邊課長、高間主事

内 容 厚木市役所表敬、関係各位との懇談（行政、社協、自治会関係者ほか）、防災関連施設等見学

(2) 地域における福祉活動の支援協力

①地域福祉推進事業

地域の福祉問題や課題を解決するために行なう住民や団体等が携わる事業に対して助成を行いました。

○選考委員会

内容	期日	会場
選考委員会	平成28年 3月 4日	総合福祉センター
第二次助成分選考委員会	平成28年10月12日	総合福祉センター

○地域福祉推進事業助成金交付団体一覧

No	団 体 名	事 業 名	助成金申請額	備考
1	網走市立白鳥台小学校	網走市立白鳥台小学校「心を耕し、学びの種をまく」ボランティア活動	20,000円	一次募集
2	自主学习サークルわくわく塾	小中学生自主学习サポート教室	28,000円	
3	網走市立西小学校校舞隊	西小舞隊高齢者福祉施設慰問及びチャリティコンサート	20,000円	
一次募集 計			68,000円	
4	しゃ〜みんな♪	しゃ〜みんな♪活動費	30,000円	二次募集
5	網走介護者を支える会	しゃ〜みんな♪活動費	30,000円	9/1～9/30
二次募集 計			60,000円	
合 計			128,000円	

○助成金交付式・説明会

内容	期日	会場
第一次助成交付式	6月13日	総合福祉センター
第二次助成交付式	10月24日	総合福祉センター

②民間助成金情報の提供

市民活動センター掲示板、機関紙等に情報を掲載し、希望する団体が円滑に申請できるよう、必要に応じてアドバイスをしました。

(3) ボランティア事業

市民活動センターを拠点として、地域住民や団体と連携しボランティア・市民活動を推進しました。

①市民活動センター実績（市委託事業）

○網走市市民活動センター来館者数、新規登録ボランティア数、相談件数

年度	来館者数	登録ボランティア数		受付別相談（問い合わせ件数）						合計
		個人	団体	来館	電話	FAX	メール	訪問	その他	
28	1,437人	23人	1団体(56人)	125件 (229)	74件 (65)	3件 (2)	7件 (6)	5件 (6)	0件 (0)	214件 (308)
27	1,457人	8人	6団体(74人)	210件 (294)	92件 (125)	0件 (2)	10件 (12)	11件 (7)	0件 (0)	223件 (440)
26	1,677人	11人	2団体(35人)	436件	227件	7件	31件	17件	0件	718件

○網走市市民活動センター 登録ボランティア数

[ボランティア登録人数]

年度	区分	人数	合計
28	個人登録	288人	1,299人
	団体登録	1,011人(55団体)	
27	個人登録	273人	1,283人
	団体登録	1,010人(55団体)	
26	個人登録	284人	1,237人
	団体登録	953人(47団体)	

[登録者性別]

年度	区分	人数
28	男性	370人
	女性	929人
27	男性	358人
	女性	925人
26	男性	345人
	女性	892人

○ボランティア幹旋実績

※（ ）は昨年度実績

活動区分	活動日数	活動実人数	延べ人数	主な活動内容
訪問活動	221 (252)	138 (113)	629 (597)	高齢者・障がい者施設訪問(訪問交流、野外レクサポート等)
生活支援	1 (4)	2 (3)	2 (6)	独居高齢者宅家屋清掃
育成活動	8 (8)	16 (16)	47 (42)	福祉教育のサポート
行事活動	13 (15)	57 (52)	64 (59)	網走市内(施設等)イベントサポート、託児
収集活動	99 (102)	140 (109)	145 (113)	収集物寄贈、熊本地震義援金街頭募金、仕分け作業
合計	342 (381)	353 (293)	887 (817)	

②網走市市民活動センターの運営強化

○ボランティア・市民活動部会の開催

部会員による検討により、広域的な事業実施及び運営強化を図ることが出来ました。

開催日	会場	出席
6月30日	市民活動センター	15名
10月24日		13名

○事業担当会議の開催

網走市市民活動センター事業を網走市社会福祉協議会ボランティア・市民活動部会員が担当することで円滑な事業運営を図ることができました。

会議名	開催日	会場	出席
市民活動支援セミナー 担当委員会 ※第1回つながろう！講座として開催	8月30日	市民活動センター	9名
第2回つながろう！講座 担当委員会	1月13日		9名
	1月19日		9名

○運営者研修

網走市市民活動センターの運営に携わる者が、センターの機能の向上や事業運営の強化を図るための「学習の場づくり」についての協議、検討を行ない、実施しました。

開催内容：他市町村のボランティアセンター運営者との交流学习及び視察の実施

4市合同研修（網走市、名寄市、士別市、紋別市） ※当年度は紋別市で実施しました。

開催日時：11月26日～27日（土～日）

参加者：40名（網走市からは8名参加）

○市民活動サポーターとの連携による来館者対応の充実

市民活動センターの来館者にとって、身近で気軽に利用できるよう環境の充実を図りました。

- ・市民活動サポーターの当番制による来館者対応

活動日	毎週月・水曜日他 13:00～15:30
活動日数	176日

- ・市民活動サポーターの育成

取り組み内容・日時	とき	場所	実績
定期ミーティングの実施	毎月第1水曜日	活動センター	年12回
第1回サポーター研修 メンタルケア心理士から学ぶ対応方法	7月6日	活動センター	7名
第2回サポーター研修 4市合同交流研修会参加	11月26～27日	紋別市	5名

③ボランティア・市民活動者の担い手づくり

○市民活動支援セミナー ※第1回つながろう！講座として開催

ワークショップを通してファシリテーション技術を学び、市民活動の活性化を図ることができました。

テーマ	とき	参加者
上手な話し合いの進め方講座 ～参加者が元気になる会議を創ろう！～	9月11日	25名

○つながろう！講座の実施

ボランティア・市民活動への理解や知識を深め、活動促進を図ることができました。

テーマ	とき	参加者
シニアは地域の埋蔵金 ～地域に貢献をしながら一緒に歳をとろう～	3月12日	95名

○ヤングボランティア育成事業の実施

回	テーマ	とき	参加者
第1回	ヤングボランティア研修会	9月10日	学生10名 他、高校卒業生4名協力

第2回	ボランティア会議 ～クリスマス交流会企画内容検討～	10月16日	学生8名 他、高校卒業生4名協力
第3回	高校生が「考える」「作る」「披露する」 クリスマス交流会大作戦	12月19日	学生15名 子ども47名、親38名 他、高校卒業生8名協力

※市内の高校生を対象として、各校と内容を協議

○各種研修会への参加支援

研修名	とき	場所	参加者
ボランティア・市民活動フォーラム	10月29日	北見市	3名
4市合同交流研修	11月26～27日	紋別市	8名 全体40名

○参加しやすい活動の企画

誰もが参加しやすい活動を企画・実施し、ボランティア・市民活動の推進を図りました。

- ・つながろう！市民誰でも清掃活動

回数	開催日	実施場所	参加者	収集数
第1回	5月14日	藻琴海岸	80名	約60袋
第2回	7月24日	海岸町海岸	50名	約50袋
第3回	10月23日	藻琴海岸	50名	約50袋

④ボランティア・市民活動実践者への支援

○各種ボランティア活動に関わる保険の加入受付を実施しました。

- ・ボランティア活動保険【対象：国内における自発且つ無償のボランティア活動】
- ・ボランティア行事務用保険【対象：国内で行うボランティア活動に関する各種行事】
- ・福祉サービス総合補償【対象：在宅福祉・地域福祉サービス、介護保険サービス など】
- ・送迎サービス補償【対象：送迎サービス】

※事故対応件数 0件

○助成金情報の提供及び助言の実施

ボランティア・市民活動実践団体（者）が、より充実した事業推進が行なえるよう、助成金に関する情報提供、相談対応及び助言を行ないました。

○物品貸出事業の実施

ボランティア・市民活動実践団体（者）の活動促進を図るため、物品等の無料貸出を随時行ないました。
（貸出物品：プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー、車いす等）

○各種収集事業実施団体の支援

センター内に回収ボックスを設置し、市民からの支援品を回収事業実施団体に届ける橋渡しや窓口を随時行ないました。 ※主な回収事業：リングプル、ペットボトルキャップ、ベルマーク、書き損じハガキ、古切手

○ミーティング室の貸出（無料）および印刷機器（有料）の提供

活動場所としてミーティング室の貸出及び印刷機器の提供を行ないました。

⑤ボランティア・市民活動に関する啓発活動

○情報紙「夢ポケット」の発行

発行日	偶数月の15日（年6回発行）		
発行号	84号	4月15日	【主な記事内容】 (1) つなごう！講座の案内、実施報告 (2) ボランティア活動の募集、活動紹介 (3) 助成金情報 (4) ボランティア・市民活動に役立つ情報 (5) ちょっといい話 等
	85号	6月15日	
	86号	8月15日	
	87号	10月15日	
	88号	12月15日	
	89号	2月15日	
発行数	820部		
配布先	登録ボランティア、市内公共施設、市内民間施設、関係機関（道内社協等）		

○パネル展の実施

公共施設や民間店舗等に、被災地支援活動等のパネルを掲載し、ボランティア・市民活動の促進を図りました。

設置場所	実施日
第五中学校 地域参観日	12月6日
震災チャリティコンサート	3月11日

○網走市市民活動センターホームページ管理運営

定期的にボランティア・市民活動の情報発信をしました。

○社協広報紙「ふれ愛めーる」への記事掲載

○報道機関への記事掲載依頼

網走市広報広聴係（広報メモ等）へ依頼するほか、報道関係へ直接依頼しました。

⑥災害時ボランティア体制整備

○「災害ボランティアセンター（仮）」の設置・運営

網走市の災害時における、ボランティアの支援体制整備及び各関係機関との連携について検討しました。

会議名	と き	参加者
網走市災害ボランティアセンター立ち上げに向けた意見交換会	9月28日	網走市 5名 社協 2名

※平成28年度の段階では未整備

(4) 子育てサポートセンター事業（市委託事業）

子育ての支援を受けたい方（依頼会員）と子育ての支援を行いたい方（協力会員）の会員制の組織で会員相互による子育ての支援活動を行ないました。

①登録会員数

年度	依頼会員	協力会員	両方会員	合計
平成28年度	175名	97名	21名	293名
平成27年度	180名	95名	22名	297名
平成26年度	191名	92名	23名	306名

※平成28年度の動き（依頼：入会18名、退会23名／協力：入会9名、退会7名／両方：入会0名、退会1名）

②相談件数

年度	件数
平成28年度	907件
平成27年度	1,063件
平成26年度	1,540件

③依頼会員への事業説明対応

年度	件数
平成28年度	16件
平成27年度	28件
平成26年度	41件

④活動内容集計

活動内容	回数	
	H28	H27
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0	236
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	97	16
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	19	4
学童の放課後の預かり	0	0
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	0	0
学童保育からの帰宅後の預かり	0	0
子どもの病気時の支援（予防接種・検診等含）	26	8
子どもの習い事等の場合の支援	11	18
保育所・学校等の休み時の支援	2	9
保育所等の施設入所前の支援	4	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の支援	55	60
保護者等の求職活動中の支援	0	3
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の支援	12	5
保護者等の外出の場合の支援	19	96
保護者等の病気（歯科通院・検診等含）、その他急用の場合の支援	78	44
保育所・幼稚園の送り	16	33
学校の迎え及び帰宅後の預かり	75	70
学校登校前の預かり及び送り	0	0
合 計	414	602

⑤協力会員登録講習会の開催

協力会員として活動していただくために、子育てに関する知識を体験や学ぶことを目的として開催しました。参加者が受講しやすい1日講習を取り入れました。

実施日	受講者
5月13日	1名
8月18日	5名
2月21日	3名

⑥スキルアップ講習

網走市子育てサポートセンターに登録している会員が、子育てや子育て支援を行う際、より安全で安心した育児活動が行える学習や意見交換等の場として実施しました。

回	期日	内容	参加者
第1回	7月31日	子育てサポートセンター10周年まつり	会員22名、一般参加者等42名
第2回	2月20日	遊びの実技指導と情報交換	協力会員11名

⑦会報「あおぞら」の発行

会員および市民に、各種事業の報告や支援活動の様子を周知しました。

発行日	4月15日（第19号）、10月15日（第20号） 年2回発行
配布先	登録会員、関係機関等（市・保健センター、子育て支援センター等）
発行部数	4月15日（600部）、10月15日（570部）

(5) 権利擁護事業

①日常生活自立支援事業（平成28年度より受託）

当年度も、北海道社会福祉協議会と「日常生活自立支援事業の実施にかかる業務協定書」を締結し実施しました。

生活支援員登録数	9名
生活支援利用者数	9名

(6) 自立生活を促進する経済的支援

①福祉援護資金貸付事業（社協貸付）の実施

○生活費緊急支援資金貸付実績

貸付件数：1件（前年4件）、貸付金：40,000円（前年100,000円）

○ボランティア援護資金貸付実績

貸付件数：11件（前年7件）、貸付金：152,000円（前年84,000円）

○相談件数

厳しい地域経済情勢の影響からか、本人の努力にも関わらず、経済的に行き詰まるケースが増えています。また生活保護費受給前の方の申請、貸付が増えています。

	件数	平均面談時間
1. 来所による相談	11	15分
2. 電話による相談	19	6分
3. 自宅訪問による相談	3	26分
4. 償還に関する相談	30	5分
合計	63	

②生活福祉資金貸付事業（北海道社会福祉協議会貸付）の実施

○貸付実績

3件 3,888,000円（前年3件、4,526,000円）

内訳：教育支援資金貸付 2件 3,753,000円、福祉援護資金 1件 135,000円

○相談件数

相談や問い合わせは数多くありますが、緊急にお金が必要なため申請に至らないケースが多い状況です。

	件数	平均面談時間
1. 来所による相談	44	30分
2. 電話による相談	132	7分
3. 自宅訪問による相談	7	20分
4. 償還に関する相談	0	—
合計	183	

③火災見舞金の支給

歳末たすけあい募金の助成金を財源に、火災による被災者に対して見舞金を支給する事業を行っていますが当年度は0件（前年度5件）でした。

④身体障害者等生活器具給付事業（ストーマ・アイスピック等）の実施

行政制度にない隙間の部分を補完することを目的として、平成24年度から規程を制定し実施しております。

給付実績：ストーマ 10件（前年度12件）1人 10,000円（合計100,000円）

アイスピック12件（前年度 1件）現物支給

⑤網走市生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

平成26年度から網走市と業務委託契約を締結して始めました当事業につきましては、新規の相談件数は前年度59件から40件に減少しましたが、継続した相談が多くなっています。全体的な相談割合は、当初の想定よりも男性が高い傾向が見られることと、高齢者の相談も多くなっています。今後もその傾向が続くことが予想されます。

○相談件数 514件（前年度507件） うち新規相談40件（前年度59件）

内 容	来所	電話	訪問	その他	合計
件 数	111	326	124	46	607（重複あり）

新規相談

○年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
1	2	4	10	5	18	40

○性別

男性	女性
24	16

○相談内容内訳（複数回答）

相談内容	家計相談	就労相談	医療問題	健康問題	介護問題	家族問題	その他	合計
件数	218	116	54	48	40	85	69	630

⑥網走市成年後見相談支援事業の受託運営

平成27年4月1日に網走市と業務委託契約を締結して始めました当事業は2年目を迎えました。

○普及啓発事業の実施

地域づくりフォーラム「落語で学ぶ成年後見」

日時：平成28年11月1日（火）午後6時から

場所：オホーツク文化交流センター（エコーセンター）

落語：講師 桂ひな太郎 氏

活動報告：「成年後見活動の実際について」 いせの里指定訪問介護事業所 社会福祉士 中村好秀 氏

体験発表：「市民後見人として活動して」 網走市市民後見人 清野芳美 氏

○相談件数78件（前年度58件）

○相談内容内訳（複数回答）

相談内容	制度概要	申立手続	金銭管理	日自	相続等	財産管理	その他	合計
件数	25	36	18	7	8	17	44	155

○運営協議会 開催状況

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回	6月14日	・平成27年度事業報告・決算、活動報告、市民後見人養成研修について
第2回	7月 8日	・活動報告、平成29年度市民後見人養成研修
第3回	11月29日	・釧路家裁網走支部からの後見人等候補者推薦依頼について
第4回	12月 9日	・事務担当者会議結果報告
第5回	3月27日	・平成29年度事業計画案、予算案、市民後見人養成研修の実施について

○フォローアップ研修会の開催

回数	開催日	場所	参加者数	内容
第1回	8月21日	総合福祉センター	9名	死後事務等について
第2回	2月26日	総合福祉センター	12名	悪徳商法について

○啓発活動の実施

団体等の会議や研修会の席上で、成年後見制度説明および事業説明を行ないました。

日時	場所	内容	出席者数
8月30日	ケアマネ連絡協議会研修会	市民後見人説明	62名
11月1日	地域づくりフォーラム	後見制度概要説明	81名

○市民後見人支援活動

当年度、2名の市民後見人が誕生しました。（前年度2名）

(7) 地域の生活を支える在宅福祉事業

①訪問介護事業（予防を含む）の実施

○サービス提供実績（延訪問数）（前年比+24.3%）

介護度 年総計	要支援		要介護					計	1日平均
	1	2	1	2	3	4	5		
平成28年度	1,056	1,274	2,290	2,065	1,503	182	483	8,853	24.4
平成27年度	994	1,109	2,349	1,275	876	278	241	7,122	19.6
平成26年度	820	1,190	1,606	1,599	1,452	521	88	7,276	20.1

②居宅介護事業（障がい者ホームヘルプ事業）の実施

○サービス提供実績（前年比+10.8%）

年度	延訪問数（回）	1日平均（回）
平成28年度	1,043	2.9
平成27年度	941	2.6
平成26年度	1,050	2.9

③地域密着型通所介護事業（予防を含む）の実施

○サービス提供実績（延人員）（前年比+6.5%）

介護度 年総計	要支援		要介護					計	1日平均
	1	2	1	2	3	4	5		
平成28年度	551	902	973	744	114	25	68	3,377	13.1
平成27年度	348	1,051	728	850	182	4	30	3,172	12.5
平成26年度	228	1,164	757	757	271	59	31	3,267	12.8

○地域に開かれた事業運営及びサービスの向上を図ることを目的に運営推進会議を開催しました。

回数	開催日	出席者
第1回	28年9月27日	12名
第2回	29年2月27日	9名

④生きがいデイサービス事業の受託運営

○サービス提供実績（前年比+2.0%）

年度	延人員	1日平均
平成28年度	358	1.1
平成27年度	351	1.1
平成26年度	305	1.2

○網走市老人デイサービスセンターの施設について、指定管理者制度に基づく管理業務を行いました。

⑤高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の受託運営（シルバーハウジング事業）

○生活援助員による生活相談など日常生活援助を行いました。入居数 27世帯（H29.3.31現在）

○生活援助員の質の向上と利用者のニーズを踏まえた生活指導に努めました。

⑥外部サービス利用型共同生活援助事業（精神障がい者グループホームひまわり）

○グループホーム「ひまわり」は、関係機関との連携により順調に運営を行いました。

現入居者7名（入居定員7名）

○ミーティングの実施

期日	参加人数	内容
毎週金曜日	入居者、関係者	参加者それぞれの生活状況の確認や助言等を行なう。

○世話人の質の向上を図り、入居者のニーズを踏まえた自立支援の提供に努めました。

(8) 外郭団体事業

各団体役員および構成員との連携を図り、事務等について適切に行ないました。

(●印は市からの業務委託団体)

1	●網走市町内会連合会	6	網走市暴力追放推進協議会
2	●網走市老人クラブ連合会	7	●網走市連合遺族会
3	●網走地区防犯協会	8	●網走市身体障害者福祉協会
4	網走地区暴力追放推進協議会	9	●くるみ里親会網走支部
5	●網走市防犯協会	10	網走市共同募金委員会

(9) 社会福祉協議会事業の広報・宣伝の強化

社協情報紙「ふれ愛めーる」の全戸配布により社協の周知に努めました。

発行日	機関紙名	付記
6月20日	ふれ愛めーる第101号	全戸配布
10月20日	ふれ愛めーる第102号	全戸配布
2月20日	ふれ愛めーる第103号	全戸配布

(10) 網走市総合福祉センターの管理運営

①駐車場が狭いという課題はありますが、指定管理者制度に基づき管理者として、順調に運営を行いました。

項 目		28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
団 体	団体数	1,029	902	994	1,080	1,042
	人 数	10,140	8,568	10,488	10,925	11,166
個 人	老 人	6,112	6,025	5,756	5,884	5,340
	母 子	130	125	139	132	164
	身 障	4,313	4,188	3,914	3,558	3,270
	精神障がい等	292	312	235	239	326
	小 計	10,847	10,650	10,044	9,813	9,100
合 計		20,987	19,218	20,532	20,738	20,266

○事業等

事業名	日にち	内容
福祉センター感謝祭	29年1月8日	カレンダー市、演芸等発表会、400人來館
利用者調整会議	29年2月17日	平成29年4月～平成30年3月利用について協議
消防訓練	5月12日、10月24日	3施設合同で避難・通報・消火訓練

②安心して利用できる施設の環境整備に努めました。

③利用者との交流や施設の理解を深める「福祉センター感謝祭」を開催しました。

④網走市福祉バス運行管理事業の実施

項 目	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
運行回数	93	84	106	95	88
利用人員	2,136	2,262	2,642	2,300	1,710

Ⅱ. 市民に信頼される組織づくり

1. 専門性の高い組織づくり

地域福祉を効果的に推進していくために、法令順守を踏まえた組織基盤の充実を図り、多様化する地域課題などを受け止め、柔軟に対応できる専門性の高い組織づくりに努めました。

(1) 専門的資格取得の奨励と助成を行ないました。

(2) 職員のスキルアップのために、各種研修会への参加促進を図りました。

①役員研修、会議等の参加状況

月	日	事業名	会場	参加者
5	20	オホーツク管内市町村社協会長事務局長会議	エコセンター	会長、事務局長
6	16-17	オホーツク管内社協職員連絡協議会	斜里町	山中係長他2名
6	21-22	全道市町村社協会長局長研究協議会等	札幌市	会長、事務局長
6	28	オホーツク圏ボランティア活動推進会議	エコセンター	松田評議員、山中係長
11	16-17	全道市町村社協事務局長連絡会議	札幌市	後藤事務局長
11	17-18	法人役員研修	札幌市	神内副会長、黒田副会長
3	2-3	オホーツク管内市町村社協会長事務局長会議（第2回）	網走湖荘	会長、事務局長

②独自研修開催状況

月	日	研修名	研修内容	出席者数
5	12	自衛消防訓練	通報訓練、避難訓練、消火訓練	本部施設職員等49名
10	24	自衛消防訓練	通報訓練、避難訓練	本部施設職員等46名
10	18	役員研修会	社会福祉法人制度改革について 講師：小田伸一税理士事務所 所長 小田伸一氏	役職員29名
11	24	介護職員研修	ホームヘルパースキルアップのための内部研修	介護職員等20名
12	14	介護職員研修	ホームヘルパースキルアップのための内部研修	介護職員等18名
3	1	職員研修会	地域において今後社協が果たすべき役割について 講師：北海道社会福祉協議会 地域福祉課 山崎 真裕氏	職員34名

③職員研修会等への参加状況

月	日	行 事 名	場 所	参加者
4	20-21	管内老協総会・施設長研修会	留辺蘂町	金野施設長
6	7	管内老協デイサービス研修会	遠軽町	金野施設長
6	15-19	生活困窮者自立支援制度人材研修	東京都	宮田主任
6	21-24	サービス提供責任者研修	札幌市	工藤
6	23-24	生活福祉資金貸付事業研修会	札幌市	宮田主任
6	28-7/1	高齢者虐待対応現任者標準研修	札幌市	大津山主任
8	2	オホーツク障がい福祉セミナー2016	湧別町	高橋係長
8	3-4	全道社協職員研究協議会	札幌市	山中係長
8	17-19	生活困窮者自立支援制度人材養成研修他	神奈川県	宮田主任
8	26-27	虐待防止研修会	札幌市	高橋係長
8	26-27	平成28年度ファミリーサポートセンター意見交換会	札幌市	宮本
9	2	精神障害者地域生活支援事業圏域研修会	端野町	大津山主任
9	9	自殺予防対策研修会	振興局	宮田主任、高岡
9	14-15	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修	釧路市	新海係長
9	28	社会福祉法人制度改革について（北見市社協研修会）	北見市	後藤局長、庭山
9	28-10/1	自立生活支援専門員研修会他	札幌市	大津山主任
10	19-21	福祉専門職のためのキャリアアップ研修	札幌市	新海係長
10	26-27	生活福祉資金貸付事業研修会	札幌市	高岡
10	30-31	ひきこもりピアサポート研修会	札幌市	宮田主任
11	8	日常生活自立支援事業支援院研修会	福祉センター	大津山主任他
11	10	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	エコセンター	金野課長他

月	日	行 事 名	場 所	参加者
11	10-11	通所ケアマネジメント研修	札幌市	寺中生活相談員
11	20-21	社会福祉法改正緊急経営セミナー	札幌市	後藤事務局長
12	5-6	ボランティアコーディネーター資質向上研修会	札幌市	松野
12	11-12	上級者ステップアップアップ研修会	札幌市	工藤
1	16-17	北海道デイサービスセンター協議会認知症介護実践研修	札幌市	大友主任介護員
1	19-20	北海道老協老人福祉施設長セミナー	札幌市	金野施設長
2	13-14	全道生活困窮者自立支援事業研究協議会	札幌市	高岡
3	2	権利擁護人材フォローアップ研修事業説明会	釧路市	大津山主任
3	20-21	成年後見制度利用促進法のつくる未来	東京都	大津山主任

2. 効果的な事業運営

(1) 理事会・評議員会等の充実

安定した事業経営や業務の円滑な執行に資するために、理事会の定期開催を実施しました。

当年度は、社会福祉法人制度改革に伴い、定款の全文改正及び関係諸規程の改正等の議題がありました。

①理事会、評議員会、監査会の開催

月	日	名 称	主 な 案 件	出席者数
5	6	第1回理事会	評議員の選任同意について	理事10名
5	11	第1回評議員会	役員改選について	評議員27名他
5	15	決算監査会	平成27年度決算監査	監事2名他
5	13	第2回理事会	正副会長の互選、会長職務代理者の指名、常務理事の指名	理事14名、監事1名
5	18	第3回理事会	平成27年度事業報告、収支決算報告、監査報告	理事13名、監事1名
5	24	第2回評議員会	平成27年度事業報告、収支決算報告、監査報告	評議員22名他
7	20	第4回理事会	部会委員会規程の一部改正、通所介護事業所運営規程の全文改正	理事14名、監事1名
10	25	第1回監査会	総務地域福祉課の業務執行状況、生活サポートセンター運営状況	監事2名他
11	10	第5回理事会	会務報告、地域福祉推進事業助成金の決定について	理事13名、監事2名
12	5	第2回監査会	監事監査のマニュアルについて、在宅福祉課の業務執行状況	監事2名他
12	14	第6回理事会	定款の全文改正、評議員選任・解任委員会運営規程の制定	理事11名、監事1名
12	14	第3回評議員会	定款の全文改正について	評議員20名
2	16	第7回理事会	定款変更に伴う諸規程の改廃、評議員選任・解任委員の推薦について	理事14名、監事1名
3	24	第8回理事会	評議員選任・解任委員会の結果、就業規則の全文改正 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の制定、29事業計画案・予算案	理事14名、監事1名
3	29	第2回評議員会	平成29年度事業計画案・一般会計収支予算案	評議員21名他

②部会等の開催

月	日	名 称	主 な 案 件	出席者数
6	29	第1回地域福祉部会	正副部会長の互選、平成28年度事業について	12名
6	30	第1回ボランティア・市民活動部会	正副部会長の互選、平成28年度の事業について	14名
7	8	第1回総務部会	正副部会長の互選、28年度事業予定について	13名
7	11	第1回在宅福祉部会	正副部会長の互選、28年度事業予定について	10名
10	24	第2回ボランティア・市民活動部会	上半期事業報告及び下半期事業計画について	12名

(2) 組織内の連携強化

ふれ愛ひろばの開催など、職員連携による事業の実施に努めました。

(3) 財政基盤の確立

① 会員会費の確保および制度の理解と加入の促進

○ 会員会費実績

年度	一般会員	特別会員	賛助会員	合計
28	1,196,300円	432,000円	691,500円	2,319,080円
27	1,260,300円	425,000円	687,500円	2,372,800円
26	1,263,350円	445,000円	692,500円	2,400,850円

② 助成金の活用

赤い羽根共同募金助成金および歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

○ 赤い羽根共同募金助成金 675,501円

内容 広報啓発事業（ふれ愛め～る発行費用） 585,501円
ふれ愛ひろば開催事業 90,000円

○ 歳末たすけあい募金助成金 1,385,769円

内容

	事業名	金額	備考
1	ヤングボランティア育成事業	150,000円	
2	ボランティア育成事業	60,000円	
3	住民福祉活動推進事業	583,200円	イベント用・災害用テント
4	住民協働地域推進事業	267,569円	出前講座用体験セット等
5	地域福祉推進事業	150,000円	地域福祉推進事業助成金
6	被災者世帯見舞金贈呈事業	100,000円	火災見舞、ストーマ等
7	募金経費（共同募金会へ）	75,000円	

Ⅲ. 第6期地域福祉実践計画の検証

平成28年度から平成32年度までの5年間を計画実施期間とした「第6期地域福祉実践計画」に基づいて、事業運営を実施しています。平成28年度の検証はまだ行なっていませんが、計画書の中で本会が実施することになっている事業実績は下記のとおりです。

主な事業実績（社協が実施する事業のみ掲載）

- ・ ボランティア休暇制度の創設（職員のボランティア活動の推奨）
- ・ 権利擁護事業の利用促進（通年）
- ・ 心のバリアフリーの啓発（通年）
- ・ 広報紙等による社協事業の情報提供（通年）
- ・ 職員の専門資格取得啓発
- ・ 内部研修の実施
- ・ 事業実施のための組織づくり（組織体制と適切な人事配置計画）

IV. オホーツク網走マラソンの実施協力

平成28年9月25日に開催されました。本会も大会役員として後藤田会長が参加したほか、実行委員会の構成団体として大会の運営等に携わりました。

○大会当日の運営・ボランティア協力

大会役員：後藤田会長

運営者：神内副会長、山中係長

当日の職員協力者数：5名

○実行委員会、部会出席状況

月日	会議名	出席者
6月 9日	第1回実行委員会	神内副会長、後藤局長、山中係長
8月 4日	ボランティア部会	神内副会長、山中係長
9月 1日	第2回実行委員会	神内副会長、後藤局長、山中係長
9月 4日	ボランティア事前説明会	
10月24日	第3回実行委員会	神内副会長、後藤局長、山中係長